

2019年3月15日(金)
リビン・テクノロジーズ株式会社

リビンマッチ 売りたい市区町村ランキング 2019

「船橋市」が「世田谷区」から首位奪う！

2年連続1位の「世田谷区」は2位に転落！

TOP10初登場は「江戸川区」「八王子市」「川口市」「宇都宮市」

不動産関連の比較査定サイト「リビンマッチ」を運営するリビン・テクノロジーズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：川合 大無）は、「リビンマッチ」の不動産売却に査定依頼のあった不動産の行政区をもとに「売りたい市区町村ランキング 2019」を集計しましたので、概要をご報告いたします。

リビンマッチ 売りたい市区町村ランキング 2019 (TOP30)

順位			市区町村名	順位			市区町村名
2019年	2018年	2017年		2019年	2018年	2017年	
1位	25位	19位	千葉県船橋市	11位	48位	12位	千葉県松戸市
2位	1位	1位	東京都世田谷区	12位	8位	7位	東京都板橋区
3位	5位	4位	東京都足立区	13位	7位	10位	東京都江東区
4位	3位	2位	東京都大田区	14位	12位	16位	宮崎県宮崎市
5位	2位	3位	東京都練馬区	15位	33位	72位	兵庫県姫路市
6位	4位	5位	鹿児島県鹿児島市	16位	6位	9位	大分県大分市
7位	16位	35位	東京都江戸川区	17位	11位	24位	大阪府東大阪市
8位	47位	87位	東京都八王子市	18位	13位	32位	千葉県柏市
9位	30位	13位	埼玉県川口市	19位	75位	60位	大阪府枚方市
10位	14位	50位	栃木県宇都宮市	20位	■	88位	岡山県倉敷市
				21位	93位	37位	広島県福山市
				22位	66位	15位	長崎県長崎市
				23位	9位	8位	東京都杉並区
				24位	99位	■	群馬県高崎市
				25位	21位	14位	兵庫県西宮市
				25位	53位	■	愛媛県松山市
				27位	■	■	栃木県那須塩原市
				27位	■	■	富山県富山市
				29位	96位	86位	東京都町田市
				30位	68位	36位	滋賀県大津市

日本最大級の不動産売却一括査定サイト「リビンマッチ」で査定依頼件数が多かった行政区を集計したところ、「船橋市」が1位であることが分かりました。

船橋市は1月～3月、9月に1位を獲得し、2018年1月～12月まで毎月トップ10内にランクイン。JR 船橋駅

<本リリースに関するお問い合わせ>

リビン・テクノロジーズ株式会社 管理本部 広報担当 マネージャー 木村

E-mail : press@lvn.co.jp TEL : 03-5847-8558 FAX : 03-5847-8559

周辺の土地が 5 年連続県内最高価格を付け、県内外からの人口流入が続き、区画整理や再開発など新陳代謝が進んでいるようです。

昨年まで 2 年連続 1 位だった「世田谷区」は 2 位に転落。世田谷区は 4 月～8 月、11 月に 1 位を獲得し、毎月トップ 10 内にランクインしていたものの、トータル件数で船橋市に負けてしまいました。

以下、「足立区」「大田区」「練馬区」「鹿児島市」とトップ 10 の常連が占めるなか、「江戸川区」「八王子市」「川口市」「宇都宮市」がトップ 10 に初登場しました。江戸川区は 10 月に 1 位を獲得し、年に 8 回、八王子市も年に 8 回、川口市と宇都宮市は 5 回ランクインしました。船橋市、鹿児島市、八王子市、川口市、宇都宮市は、中核市ですが、人口が 50 万人以上もあり、政令指定都市に匹敵する市です。その分不動産も流動的であると考えられます。

また、「倉敷市」(20 位)、「那須塩原市」「富山市」(27 位タイ) が昨年の圏外からトップ 30 以内に急浮上しました。倉敷市は 1 月に、那須塩原市は 5 月と 12 月にトップ 10 内にランクインしましたが、富山市はありませんでした。那須塩原市は、別荘地として有名なため、バブル景気の別荘ブームで購入した世代が高齢化し、売却を考えている人が多いかもしれません。富山市は、現在行われている再開発も 1 つの原因ではないかと考えられます。

リビンマッチ 売りたい市区町村ランキング 2019 (31位～100位)

順位			市区町村名
2019年	2018年	2017年	
31位	27位	30位	東京都葛飾区
32位	23位	23位	千葉県市川市
32位	圏外	圏外	岐阜県岐阜市
34位	24位	75位	北海道旭川市
35位	71位	49位	石川県金沢市
36位	39位	51位	兵庫県尼崎市
37位	55位	43位	香川県高松市
38位	80位	41位	和歌山県和歌山市
39位	圏外	圏外	神奈川県横須賀市
40位	53位	44位	東京都墨田区
41位	78位	61位	愛知県一宮市
42位	圏外	99位	群馬県前橋市
43位	10位	6位	東京都新宿区
43位	63位	64位	宮城県仙台市青葉区
45位	20位	17位	福岡県福岡市東区
46位	18位	21位	神奈川県藤沢市
46位	56位	66位	埼玉県川越市
46位	100位	圏外	愛知県豊田市
49位	圏外	圏外	青森県青森市
50位	15位	18位	東京都品川区
50位	83位	83位	大阪府高槻市
52位	43位	圏外	埼玉県所沢市
53位	圏外	圏外	福島県いわき市
54位	46位	76位	埼玉県越谷市

順位			市区町村名
2019年	2018年	2017年	
55位	62位	23位	福島県郡山市
55位	圏外	圏外	兵庫県加古川市
57位	69位	100位	北海道札幌市北区
58位	95位	62位	兵庫県明石市
58位	98位	85位	長野県長野市
60位	49位	圏外	京都府京都市伏見区
61位	圏外	45位	北海道函館市
62位	40位	34位	大阪府豊中市
62位	87位	圏外	神奈川県横浜市鶴見区
64位	圏外	圏外	栃木県那須郡那須町
65位	65位	76位	福岡県久留米市
65位	80位	圏外	大阪府寝屋川市
65位	圏外	圏外	北海道釧路市
68位	38位	72位	山口県下関市
68位	87位	圏外	埼玉県春日部市
70位	17位	52位	東京都中野区
71位	34位	93位	神奈川県横浜市港北区
72位	圏外	圏外	長崎県佐世保市
73位	50位	70位	愛知県岡崎市
73位	91位	29位	岩手県盛岡市
75位	18位	20位	東京都港区
75位	42位	25位	大阪府吹田市
75位	圏外	98位	大阪府八尾市

順位			市区町村名
2019年	2018年	2017年	
78位	60位	96位	兵庫県神戸市垂水区
78位	圏外	圏外	神奈川県横浜市青葉区
80位	圏外	圏外	兵庫県神戸市北区
81位	31位	22位	福岡県福岡市博多区
81位	圏外	圏外	神奈川県横浜市戸塚区
83位	58位	78位	東京都北区
83位	77位	圏外	神奈川県茅ヶ崎市
83位	圏外	38位	奈良県奈良市
83位	圏外	圏外	群馬県伊勢崎市
83位	圏外	圏外	愛知県豊橋市
88位	94位	52位	沖縄県那霸市
89位	圏外	圏外	茨城県水戸市
90位	36位	39位	東京都渋谷区
91位	圏外	圏外	静岡県富士市
91位	圏外	圏外	広島県呉市
93位	圏外	圏外	秋田県秋田市
93位	圏外	圏外	千葉県佐倉市
93位	圏外	圏外	岡山県岡山市北区
96位	22位	11位	福岡県福岡市中央区
96位	37位	33位	東京都豊島区
96位	44位	54位	福岡県北九州市八幡西区
96位	51位	57位	福島県福島市
100位	圏外	圏外	茨城県つくば市

100 位までにランクインした行政区を見ると、東京都は 19 市区と一番多く、2 位の神奈川県、大阪府、兵庫県（各 7 市区）の倍以上と大きく差をつけました。以下、埼玉県、千葉県、福岡県（各 5 市区）となり、昨年と比較すると、大きな都市だけでなく、地方都市などまんべんなくランクインしました。なかでも、「富山市」(27 位)、「岐阜市」(32 位)、「青森市」(49 位)、「水戸市」(89 位)、「秋田市」(93 位) は、その県初のランクインでした。

＜本リリースに関するお問い合わせ＞

リビン・テクノロジーズ株式会社 管理本部 広報担当 マネージャー 木村

E-mail : press@lvn.co.jp TEL : 03-5847-8558 FAX : 03-5847-8559

また、昨年のランキングと比較すると、「岐阜市」(32位)、「横須賀市」(39位)、「前橋市」(42位)、「青森市」(49位)、「いわき市」(53位)など圏外からトップ100にランクアップした行政区は27市区町。一方、「福岡市南区」(前年26位)、「文京区」(前年28位)、「福岡市早良区」(前年29位)、「浜松市中区」(前年32位)、「中央区」(前年35位)など昨年のトップ100から圏外にランクダウンした行政区は28市区ありました。

2018年は、日本最北端の北海道稚内市、最西端の沖縄県八重山郡与那国町を含む、全国1,791(2017年:1,808、2016年:1,806)市区町村の不動産査定依頼がありました。売りたい都道府県トップ5は、1位から東京都、大阪府、神奈川県、千葉県、埼玉県の順でしたが、逆に売りたくない都道府県トップ5は、1位から高知県、鳥取県、島根県、福井県、佐賀県の順となり、人口に比例する傾向にあります。

<調査概要>

- 対象期間：2018年1月1日～12月31日
- 対象者：「リビンマッチ」の不動産売却ユーザー
- 集計方法：「リビンマッチ」の不動産売却に査定依頼のあった不動産の行政区をそれぞれ集計
- 調査リリース URL: https://www.lvnmatch.com/magazine/article/column/lvn_research/7989
- リリース公開日：2019年3月12日

※本リリース内容の転載にあたりましては「リビンマッチ調べ」という表記をお使いいただけますよう、お願いいたします。

<リビンマッチについて>

「住まいや住生活に関するマッチングサイト」という思いを込めた不動産サービス・価格比較のポータルサイト。2006年に運営を開始し、1,400社以上の不動産会社が加盟。不動産売却、不動産買取、賃貸管理、土地の活用、リノベーション、注文住宅など幅広いサービスを提供。また、不動産業界の求人・転職情報サイト「リビンマッチ 不動産求人情報」や、不動産・住宅関連業界のビジネスパーソン向け情報サイト「リビンマガジン Biz」など、不動産業界のビジネスパーソンもしくは不動産ビジネスに興味があるユーザー向けのサービスも提供。

URL : <https://www.lvnmatch.com>

<リビン・テクノロジーズ株式会社について>

所在地：東京都中央区日本橋堀留町1-8-12 さくら堀留ビル8F

代表者：代表取締役 川合 大無

設立年：2004年1月

事業内容：不動産プラットフォーム事業（WEBテクノロジーと不動産を融合したプロダクトの開発と運営）

- ・不動産パーティカルメディア
- ・不動産業務支援システム
- ・不動産業界向け人材サービス
- ・インターネット広告

URL : <https://www.lvn.co.jp>

<本リリースに関するお問い合わせ>

リビン・テクノロジーズ株式会社 管理本部 広報担当 マネージャー 木村

E-mail : press@lvn.co.jp TEL : 03-5847-8558 FAX : 03-5847-8559